

8 木簡の釈文・内容

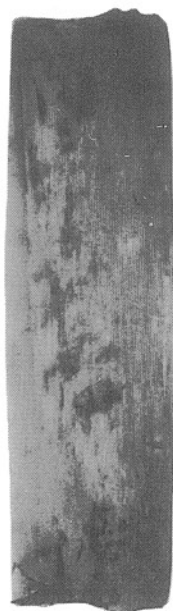
(1) □三十□□□^{〔三カ〕} 徳治×

(124)×32×5 081

墨痕は比較的明瞭で、墨書は片面のみに見られる。上下両端部は欠損しているが、左右は原形を留めている。末尾の二字は年号「徳治」(二三〇六―二三〇八年)とみられるが、下半が欠損しているため、年号以外の記述であることも十分考えられる。ただ、共伴して出土した土器類は、当地域では概ね一三世紀後半―一四世紀前半の時期に比定されるものである。

9 関係文献

福知山市教育委員会『福知山市文化財調査報告書』第三六集(一九九八年)
(永谷隆夫)



木簡研究 第二〇号

和田 萃

巻頭言―機器の目・人の目―
一九九七年出土の木簡

概要 平城宮跡 平城京跡(1) 平城京跡(2) 青野遺跡 藤原宮跡 酒船石遺跡 長岡宮跡 長岡京跡左京二条四坊三町 長岡京跡右京六条二坊六町 平安京跡右京三条一坊三町 平等院庭園 細工谷遺跡 大坂城跡 天満本願寺跡 堺環濠都市遺跡 東浅香山遺跡 猪名庄遺跡 屋敷町遺跡 加都遺跡 明石城武家屋敷跡 境谷遺跡 茂利宮の西遺跡 安坂・城の堀遺跡 大將軍遺跡 大脇城跡 瀬名川遺跡 明治大学記念館前遺跡 千駄ヶ谷五丁目遺跡 山崎上ノ南遺跡B地点 西原遺跡 松本城三の丸跡小柳町 松本城下町跡伊勢町 三輪田遺跡 一本柳遺跡 志羅山遺跡 三条遺跡 上高田遺跡 山田遺跡 弘田柵跡 大光寺新城跡遺跡 福井城跡 金石本町遺跡 戸水大西遺跡 堅田B遺跡 七尾城下町遺跡 蛇喰A遺跡 二口五反田遺跡 清水堂F遺跡 下ノ西遺跡 中倉遺跡 大御堂廃寺 三田谷I遺跡 有福寺遺跡 高田遺跡 百間川米田遺跡 津寺遺跡 末原窯跡群(灰原上層) 萩城跡(外堀地区) 高松城跡 観音寺遺跡 上長野A遺跡 香椎B遺跡 博多遺跡群 魚屋町遺跡
一九七七年以前出土の木簡(二〇) 藤原宮跡
釈文の訂正と追加(一) 山垣遺跡 袴狭遺跡(深田地区) 袴狭遺跡 入佐川遺跡 出雲国庁跡
再び長屋王家木簡と皇親家令について
長野特別研究会の記録
信濃の古代と屋代遺跡群:寺内隆夫、七世紀の屋代木簡:傳田伊史、七世紀の地方木簡:鐘江宏之、七世紀の宮都木簡:鶴見泰寿、律令制の成立と木簡―七世紀の木簡をめぐって:館野和己
書評 佐藤信著『日本古代の宮都と木簡』 仁藤敦史
新刊紹介 大庭脩編著『木簡―古代からのメッセージ』 丸山裕美子

頒価 五五〇〇円 送料六〇〇円